

～学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト～ 活動報告会を開催します

企業や地域、行政等と協働して、地域課題の解決や小規模ビジネスへのチャレンジに取り組む「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」に参加している26の学生グループが、今年度の活動報告を行います。

1 日時

令和8年2月14日(土)13時～16時30分

2 場所

岡山市役所本庁舎 7階 大会議室

3 内容

報告会では、岡山市と包括連携協定を締結している地域金融機関(株式会社中国銀行・株式会社トマト銀行・おかやま信用金庫)の方を審査員に迎え、グランプリ・準グランプリ等の選出を行います。当日は、9大学等 26グループの学生およそ100名が参加します。

4 その他

・参加グループや事業の詳細については別紙にて、ご確認ください。

・【学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト】

地域づくりの次世代を担う人材が、地域に住み続け、活躍するまちづくりを進めていくため、大学生等が企業や地域、NPO等と協働して、地域課題を解決する活動や、小規模ビジネスの実現に取り組む活動に対して、補助金による支援を行っています。

<参加対象> 大学・短期大学・専門学校に在籍する学生

【問い合わせ先】

岡山市政策企画課 串間・有正 直通086-803-1043 内線3565・3587

<令和7年度 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 活動報告会>

発表順	大学等	団体名	事業名	事業内容
1	岡山商科大学	いとみかん。	いとみかん。～地域の特産を全国に繋げる～	農家の支援と特産物の開発及びブランディングを目指した もの。大藪みかんのというブランド価値を高めるなどの企 画を行う。
2	岡山大学	岡山大学酒向先生研究室	インクルーシブ「うらじゃダンス」プロジェクト	障害者と健常者が共に踊る「うらじゃダンス」の開発と実践
3	岡山大学	岡山大学農学部総合農業科学科作物生産技術研究室 SCOGリーダーズ	Small City in Our Garden(SCOG)～子ども・学生主体のハウスデザ インプロジェクト～	岡山大学内にある耕作放棄地を、小学校～大学生が主体 となって一つの空間を作り上げていく。農業を手段に子ども たちの居場所づくりを進め、教育の多様化を目指す。
4	岡山大学	体験せにゃあ大変じゃ	体験型防災施設における効果的な防災教育の推進プロジェクト	岡山市消防教育訓練センター 水難救助訓練施設において、より効果的な教育プログラムを構築し、岡山市民の防災意識及び対策の向上を図る。
5	岡山大学	地域防災プロジェクトチーム	子どもと保護者と地域をつなぐ「学区に根差した防災すごろく」の活用	防災すごろく作成の教育効果を再検証することで、効果的な防災教育の実践方法としての確立を目指す。また、他地域で適用可能となるよう防災知識伝達モデル(本実践)の教材化を試みる。
6	就実大学	就実大学 食のノーマライゼーション化プロジェクト	アレルギーフリーベーグルで子どもたちに元気百倍を	アレルギーフリーのベーグルを企画、製造、販売し、子どもに安心な食べ物を届けるとともに、子育て家庭の食事改善に寄与する。
7	就実大学	就実大学グリーン・レボリューション2025	農産物直売所における出荷システムの効率化による生産者支援プロジェクト	地元産の農産物の供給力を維持するために農産物直売所へ出荷する生産者の出荷・生産活動の効率化および新たな出荷者の掘り起こしを可能とする出荷システムの構築
8	中国学園大学・中国短期大学	チーム中国学園	岡山市オリジナル子ども体操・ダンス	大学生とフィットネスジム及び子ども向け運動教室を展開する。(株)エヌ・シー・ピー(本社:岡山市)と子ども・幼児向け教育の専門学科を持つ本学園が連携し、子ども向けの体操・ダンスを開発し、全国へ向け情報発信を行う。

<令和7年度 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 活動報告会>

発表順	大学等	団体名	事業名	事業内容
9	ノートルダム清心女子大学	ノートルダム清心女子大学ソーシャルデザイン研究会	大学生と留学生の異文化チームによる犬島の社会問題解決と活性化	犬島をフィールドに、同島を住み続けられる魅力的な地域として全国に発信することを目的として、アート・自然・人の共生を実現する教育プログラムを展開する。
10	ノートルダム清心女子大学	café connect	奉還町商店街の若者アクセス向上と地域コミュニティ形成を目指す、学生主体のカフェ運営と体験型イベントを通じた地産地消・交流促進プロジェクト	学生が奉還町商店街で実際にカフェを運営し、交流の場を提供する。季節の岡山県産フルーツを使った商品提供や地産地消、食品ロス削減を推進。アイス作りやフルーツ・特産品に関するワークショップなどの定期イベント開催を通して、若者と地域住民の交流を促進する。活動を通して、商店街の活性化と地域コミュニティの形成に貢献することを目指す。
11	ノートルダム清心女子大学	おかわり	岡山県産米と農産物を使用し、多様な「おかやまおむすび」を通じて米消費拡大・食文化振興・地域魅力発信を促進する販売・啓発活動	岡山県産の米と農産物を使用し、地域色豊かなおむすびを開発・販売する。文化多様性やライフスタイルに合わせたおむすびを提供し、食育クイズやワークショップを通して、岡山の米や魅力を発信。SNSも活用し、幅広い世代に美味しさと文化の体験を届け、米消費量減少という課題解決に取り組む。
12	ノートルダム清心女子大学	amour(アムール)	洋菓子店とコラボレーションした商品による、岡山市民の健康食品への意識向上、地産地消、TFT募金活動、米農家の応援を目的とする販売活動	岡山県の米粉や自然由来の砂糖を使用して岡山市の洋菓子店と焼き菓子を開発し、マルシェ等イベントで販売する。それにより岡山市民の地産地消、健康意識の向上と、米農家の応援を目指す。また、焼き菓子の価格に+20円上乗せして販売することで、その分をTable for two(TFT)活動に寄付する。
13	ノートルダム清心女子大学	MARYS	畑と食卓をつなぐサステナブルなソーシャルビジネスプロジェクト	岡山県産の規格外品を使ったホットドッグ商品化し、企業とコラボしてイベントやマルシェに出店し販売する。
14	岡山理科大学	岡山理科大学サッカー部	大学生による高齢者および小学生・幼児とのスポーツ交流事業	スポーツやレクリエーション、学生サッカーの公式戦を通して、大学のサッカー部学生と地元の老人クラブ、町内会、小学生及び幼児の交流の機会を創出するとともに、地域の連携体制の確立を目指す。
15	岡山理科大学	表町商店街データサイエンスラボ	表町商店街データサイエンスラボ	表町商店街の店舗や周辺の地域を対象に商店街訪問者の方々の利用実態や再訪問意向、商店街通行者の行動パターンや利便性についての調査とデータ収集・分析を実施し、その知見を基に各商店への訪問率を向上させる施策を提言する。

<令和7年度 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 活動報告会>

発表順	大学等	団体名	事業名	事業内容
16	岡山理科大学	経営学部経営学科黒田研究室	スポーツ交流による地域活性化	真庭市のスポーツ施設利用促進を目的に、岡山市と真庭市の子どもを対象としたスポーツ交流合宿や、岡山市内の大学スポーツ部による合宿の誘致を行う。これにより、スポーツ技術の向上と地域間交流の促進、さらに施設の認知度の向上を図る。
17	岡山理科大学	岡山理科大学経営組織研究室	真庭勝山で夜カフェ:歴史の街でお洒落になる	真庭市勝山の空き家対策をサポートするため、岡山市内のカフェ、美容、ファッション関連事業者が本年10月に1日出店して「夜カフェ」を営業する。また、事前事後に、動画を制作して勝山の広報をSNSなどで実施する。
18	学校法人 武田学園 専門学校ビーマックス	ビーマックス 造山古墳チーム	造山古墳の観光PRと岡山市民の健康増進	造山古墳のボランティアガイドへの貢献を行いながら、地域の文化遺産である造山古墳をPRしていく。また、岡山市民の健康増進を図るため、ウォーキングラリーイベントを開催する。
19	学校法人 武田学園 専門学校ビーマックス	ビーマックス 国際共生チーム	多文化の地域づくり・フェアトレード商品の開発	国際交流のイベントが盛んな地域公民館のスタッフとして関わりながら、岡山市での異文化理解を深める。また、海外から輸入した物品を用いて、加工を行うフェアトレード商品の開発・販売に取り組む。
20	環太平洋大学	IPU環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト(扇野ゼミ)	「希望の足跡」～保護犬に特化した「癒し+消臭」アロマでアニマルウェルビーイングの実現～	岡山市の保護犬の精神安定を促進し、シェルター内の消臭効果を兼ね揃えたアロマ製品を学生主導で開発・提供するもの。産学官で協力し、犬のストレス軽減、譲渡促進、施設環境の改善を目指す。活動を通じて、保護犬ゼロを目指す地域社会のモデル作りへの貢献を目指す。
21	環太平洋大学	IPU環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト	岡山市から始める岡山県投票率日本一プロジェクト～高校生と大学生が投票で描く岡山の未来～	夏の参議院選挙及び秋の市長選挙に向け、中立的な立場で投票率の若者の向上を目指すプロジェクト。
22	環太平洋大学	IPU環太平洋大学 大池研究室(マリ支援プロジェクト)	IPUマリ支援プロジェクト	岡山県内にはマリ共和国出身者が24名生活しており、この人数は全国でも関東圏について多く、そのほとんどが岡山市内に在住している縁が深い。しかしながらマリ共和国は政情不安で貧富の格差が激しく、子どもたちは衣食住において支援を必要としている。そのマリ共和国の支援を通して地域におけるESD及びSDGsの推進への貢献を図る。

<令和7年度 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 活動報告会>

発表順	大学等	団体名	事業名	事業内容
23	環太平洋大学	IPU環太平洋大学 大池研究室(ハラールフードプロジェクト)	IPUハラールフードプロジェクト	民間企業と連携し、ムスリムであっても気軽に口にすることができる食のメニュー開発に取り組む。開発に成功したメニューは各種イベント等に出店し、ハラール料理について市民にも知ってもらう機会を設ける。これらの活動により、誰でも食べることができ、皆で食卓を囲める食づくりを目指す。その際に岡山産の食材を活用することで地域とのつながりを深める。
24	環太平洋大学	IPU環太平洋大学 大池研究室(農産物プロジェクト)	IPU農産物プロジェクト	昨年度取り組んだ規格外野菜を活用した商品開発に引き続き取り組む。「きゅうりのバスソルト」のみならず、他の野菜を活用した新商品も考案し、商品化につなげる。この事業がきっかけとなり、岡山の農業のさらなる活性化に繋げる。
25	環太平洋大学	環太平洋大学 アワーユニバース	学生とフリースクールで地域活性化	IPUブリッジの児童、フリースクールを運営するIPUの学生団体、そして地域の方と力を合わせて、金山寺エリアでフルーツパークやプレイパークを運営する。地域の方にボランティア参加してもらうことで、農業の指導や活動をサポートを得ながら、児童や学生に対し、生きた学びの場を提供するとともに、若者の力で地域の活性化を目指す。
26	岡山県立大学	OPU Craft Beer Lab	クラフトビールを活用した地域活性化	昨年度、本事業を活用して開発したクラフトビール「ハイチアーズ!!」の売り上げ向上のためのイベント、キャンペーンを展開する。また、消費者や醸造家相互のコミュニケーションを促し、地域交流に役立てるほか、新たなコンセプトに基づくクラフトビールを開発し、業界の発展や地域の活性化につなげる。